

地域音楽コーディネーター養成講座【オンライン7月】

当日スケジュール（進行状況により変更になる場合がございます）

2025年7月6日（日）

時間	講義・講師名
09:30 ～ 10:00	受付
10:00 ～ 10:10	オリエンテーション
10:10 ～ 11:10 講義60分	①生涯学習と音楽 地域音楽コーディネーターの仕事と今日的意義について 地域音楽コーディネーターはどのような仕事で、何が期待されているのかをお話します。
	事前動画：なし 課題：なし レジユメ：あり 講義資料：あり
講師	久保田 慶一（日本大学大学院 講師、放送大学 講師、公益財団法人音楽文化創造 理事）
11:20 ～ 12:20 講義60分	②文化と地域創生 地域音楽コーディネーターが各拠点をつなぐ役割を担う 多様な人々の多様な背景を繋ぎ、ファシリテーター・ステークホルダーとして担っていく役割を一緒に考えていきましょう。
	事前動画：なし 課題：なし レジユメ：あり 講義資料：あり
講師	渡辺 行野（文京学院大学人間学部児童発達学科・同大学院人間学研究科 准教授 ふじみ野市文化協会 理事、文化振興審議会 委員、学校運営協議会 委員）
12:20 ～ 13:30	昼食休憩
13:30 ～ 14:30 講義60分	③地域文化マネジメント 文化で地域をつなぐ・・・街の先生と学校と、地域をつなぐノウハウ教えます！！ 文化という言葉は、オールマイティのカード。地域をつなぐ糸口の見つけ方、地域のキーマンとの交渉方法、資金集めなど、実践してきたことを紹介し、受講生の皆様からの質問に答えていきたいと思います。
	事前動画：なし 課題（事前質問）：あり レジユメ：あり 講義資料：なし
講師	中村 牧（公益財団法人音楽文化創造 理事）
14:40 ～ 16:40 グループワーク含む 120分	④音楽企画書の書き方 ターゲットを明確にして、キャッチフレーズを考えれば、企画は自ずと出来上がる！ ターゲットを明確にし、キャッチフレーズを考えれば、企画は自ずと出来上がる。 さあ、一緒に考えましょう！
	事前動画：なし 事前課題：なし レジユメ：あり 講義資料：あり
講師	大谷 邦郎（グッドニュース情報発信塾 塾長）
受講の流れ	受講者を5～6名のグループに分け、グループワークを実施。 グループごとに企画を考え内容を発表。
16:40 ～ 16:50	まとめ

講師プロフィール

久保田 慶一

日本大学大学院 講師、放送大学 講師、公益財団法人音楽文化創造 理事

東京藝術大学大学院修了。音楽学博士、芸術学修士、カウンセリング修士、経営学修士。東京学芸大学教授、国立音楽大学副学長・教授、東京経済大学客員教授を経て、2025年4月より日本大学大学院、放送大学の各講師。

渡辺 行野

文京学院大学人間学部児童発達学科・同大学院人間学研究科 准教授

ふじみ野市文化協会 理事、文化振興審議会 委員、学校運営協議会 委員

小・中・高校にて教育実績を持ち、現在は保育・幼稚園・小学校の保育者・教員養成に注力している。

【著書】

『教育音楽』：「連載 教えてゆきの先生！生徒の心ときめく鑑賞授業」（音楽之友社）

『音楽指導DVD出演・指導・解説・製作』：「音楽を愛する子どもを育てる手立て～身体と声を結び付け歌唱表現につなげる指導実践～」(JLC：ジャパンライム株式会社) 他。

中村 牧

公益財団法人音楽文化創造 理事

3才からピアノを始め、音楽に親しみ続ける。横浜国立大学教育学部音楽専攻卒業、日本クラシック音楽マネジメント協会（現：一般社団法人日本クラシック音楽事業協会）の社団化・立ち上げに従事し、クラシック音楽業界でのネットワークを生かし、横浜みなとみらいホールや指定管理施設第1号となった杉田劇場の立ち上げに携わり、2006年同劇場館長。横浜みなとみらいホール総支配人を経て2014年4月より現職。日常に文化があるが信条。地域文化の拠点として、「地域と一緒にできること」をモットーに、異世代交流のワークショップ（杉劇リコーダーず、杉劇☆歌劇団）、障がいのあるなしに関わらず参加できるワークショップ（杉劇にこここ合唱団）やアウトリーチ、区民参加型事業、区民ボランティア組織（杉劇@助っ人隊）による事業、地域の伝承事業、地域文化の担い手育成事業、などを手掛ける。さらに、学校運営協議会や磯子区制100周年実行委員会、地域ケア会議などに参画し、文化でつなぐ地域づくり、街づくりに貢献。今年度からは、一歩進んで、学校や音楽団体をつなげて地域文化クラブの杉田劇場モデルを確立できたこと、NPO法人による劇場運営を支援し推進し、ますます地域と文化、音楽と人と、結ぶことを楽しんでいる。

大谷 邦郎

グッドニュース情報発信塾 塾長

1984年、株式会社毎日放送入社。40歳代半ばまでは大半を「記者」として過ごし、テレビでは経済番組のプロデューサーとして活躍。ラジオ時代には放送業界では最高峰の賞「ギャラクシー賞大賞」や「民間放送連盟賞最優秀賞」などを受賞。その後、ラジオ報道部長、宣伝部長などを歴任。取材する側、取材される側をともに経験したことにより、情報発信に関する独自のノウハウを蓄積。2016年に毎日放送を早期退社し、グッドニュース情報発信塾を立ち上げ、現在に至る。情報発信の各種セミナーの講師やコンサルタントとして活躍中。また講談作家、追手門学院大学「笑学」研究所客員研究委員の肩書きも持つ。